

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	10	利用者や家族の意見・要望を更に運営へ反映することで、利用者が「その人らしく生活する」と言うグループホームのあるべき姿を追求したい。	利用者や家族の意見・要望が管理者や職員全員へ周知され、より反映され易い仕組みを構築する。	特に家族の貴重な意見・要望また連絡事項などを漏れなく反映するための記録フォームを作成し、職員全員へ周知徹底を図れるようにする。。	12ヶ月
2	6	身体拘束の廃止に向けた取組をより具現化するために、車椅子ベルト(抑制ベルト)なしで支援できるような取り組みを検討し、実践する。	車椅子ベルト(抑制ベルト)をする理由からベルトをしない工夫を抽出し、職員全員がベルトをしない工夫を考えるようにする。	引き続き全職員へ対して「自由な暮らしの大切さ」を指導するとともに車椅子ベルト(抑制ベルト)がなくても安全性が保てる工夫を検討し、今後利用できるような資料にまとめる。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。